



## みんなで考える市町村合併 第4回新潟地域合併問題協議会



### CONTENTS (もくじ)

- 市政クリップ……………2、3
- 第4回新潟地域合併問題協議会……………4、5
- 精神障害者の日常生活を支援、おしゃべりさん……………6、7
- まちの話題……………8
- 市議会選挙のお知らせ……………9
- お知らせ……………10～13
- みんなのページ……………14
- ズームアップ……………16

表紙 茨曾根地区さいの神



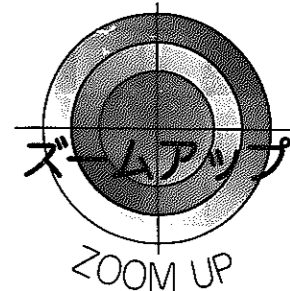
# 広報 しるね

3 . 1  
2003 No.633

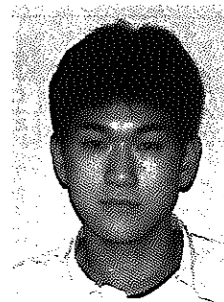
※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。



国際試合に臨む堂下さん(写真左から1人目)。鹿本県の高校生とダブルスを組み、ベスト16入りを決める。堂下さんいゆく「思いっきりできました」



## 初の海外遠征が大きな自信に



堂下智寛さん

昨年11月、北越高校2年生の堂下智寛さん(17歳・諏訪木8)が、バドミントンの全日本ジュニアに選出され、12月のマレーシア遠征に参加しました。全日本ジュニアのメンバーは16人(男女各8人)。いずれもインターハイなどで活躍した高校生ばかりです。堂下さんも昨夏のインターハイ、ダブルスでベスト4に入るなど素晴らしい成績を残し、今回の選出となりました。遠征では国際大会へ参加したほか、マレーシアジュニアとの合同練習を行いました。国際大会には開催国マレーシアをはじめ、韓国やインドネシアなどの強豪国を含む9カ国、276人の選手が参加。堂下さんはシングルとダブルスに出場し、シングルは1勝2敗で予選敗退したものの、ダブルスではベスト16と大健闘しました。

「シングルで1勝できたことが、大きな自信になりました」と堂下さん。今年1月には主将として県高校選抜大会に臨み、団体・シングル・ダブルスで優勝。見事3冠を獲得しました。今後の目標を「全国で勝つこと。団体はベスト8、シングルとダブルスはベスト4です」と挙げる堂下さん。高校生最後の年がもうすぐ始まります。

### ▶数字で見る市勢 ※2月1日現在 ※( )内は前月比

人口	40,795人	(+ 2人)
男	19,937人	(+ 1人)
女	20,858人	(+ 1人)
世帯	11,433世帯	(+ 4世帯)
出生	23人	死亡 33人
1月中の転入	73人	転出 61人

### 編集ルーム

◎あ～このイップクが…、あ～この喉ごしが…、Ah!夢の中で、たばこを吸っている自分にびっくりして飛び起きること数回。◎苦しい禁煙生活も、はや3カ月。この間に禁煙をする仲間(同志)も増え、励まし合いながら…。◎禁煙の“イライラ”から逃れるために1日中ガムをかむ仲間、あめをなめすぎて歯科医院へ通う同志。◎ここまで来たら、もう後戻りできない…。 (ひ)

前回まで、レスリングの始まりや歴史について話してきました。でも、「レスリングのこと、まだよく分からない」という人は多いのではないのでしょうか。中には、プロレスと勘違いしている人もいるかもしれませんね。

ルールを簡単にいうと、相手を倒したり投げたりして、相手の両肩をマットに1秒間つけたら勝ちです。これを「フォール」といいます。よく似ている技には、柔道の投げ技、相撲の組み手、ラグビーのタックルがあります。これらを合わせた感じの総合格闘技が、

### 総合格闘技レスリング



レスリングなのです。

しかし、柔道着やまわしのようにつかめるところがレスリングにはありません。裸に近い「シングレット(写真)」というものを着用しています。よって、身体能力だけでなく、体のしくみを知り尽くした選手の方が、勝利の鍵を握っているといえるでしょう。



文・林 雄一

(白根高等学校教諭)